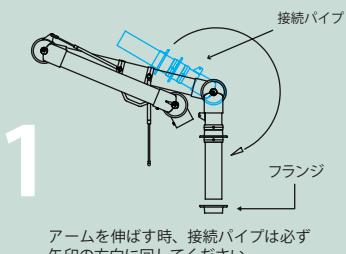




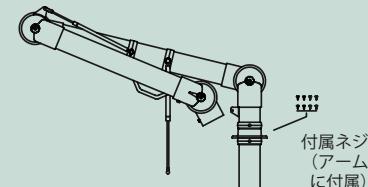
テーブル取付け

●接続パイプを伸ばす



1

●テーブルブラケット利用取付①

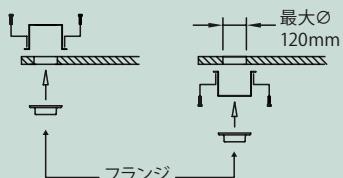


3

●取付方法の選択

2

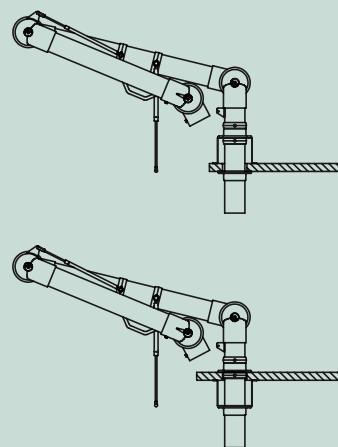
テーブルブラケット
(U型) 上面(→3へ)
テーブルブラケット
(U型) 下面(→3へ)



アームを取り付ける位置に最大直径120mmの孔をあけてください。ブラケットの中心とテーブルにあけた孔の中心を正確に合わせて、テーブルブラケットをテーブルの上側又は下側に固定してください。接続パイプをテーブルとブラケットの双方の孔に通して、フランジを添付の小ネジでテーブルまたはブラケットに固定します。

4

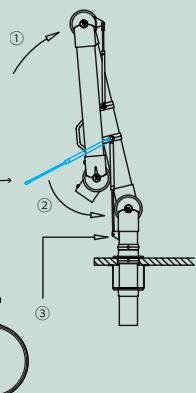
●テーブルブラケット利用取付②



テーブルブラケットをテーブルの上側に取り付けるか、下側に取り付けるかは、ソケットパイプがテーブルの上側に出ている部分の長さに影響します。この点を必ず考慮しておいてください。(→5へ)

●ガススプリングの固定

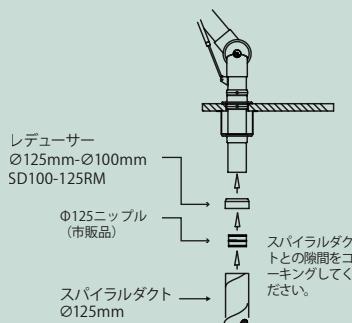
5



- ①吸気アームを垂直位置になる所まで移動させ
- ②ガススプリングを接続パイプ上のフィッティングまで回転させます
- ③ガススプリングを左図のように固定します。

●換気ダクトへの接続

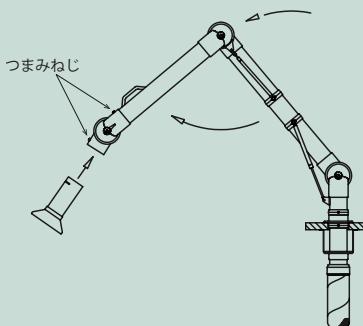
6



市販のφ125 スパイラルダクトと接続する場合、φ125 ニップル（市販品）と SD100-125RM レデューサーを用いて図示のように接続してください。
スパイラルダクトとニップル、ニップルとレデューサーの隙間はコーキングしてください。
レデューサーとアームは、接着しないように注意してください。

●フードやノズルの取り付け

7



フードやノズルの接続パイプを関節に差し込みます。この時、ねじ穴に関節パイプのスリットの位置を合わせて差込み、つまみねじで固定してください。最後にダンパーが開いていることを確認してください。

これで局所排気システムをご使用できるようになりました

注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。ブラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。



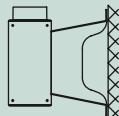
壁面取付け

●壁面ブラケット



1

●壁面ブラケットの取付け

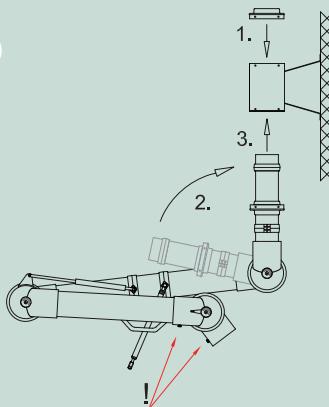


2

壁面ブラケットの取付けに際しては、アームの作動によって壁面ブラケットにかなりの力がかかる事を考慮してください。ブラケットは壁面にしっかりと固定してください。
※注意！ 壁が、石膏ボードなど強度が低い場合、必ず充分な補強を行ってください。

●壁面ブラケットへの組付け

3



1. ブラケット(1)の上部にスクエアガイドを入れ、付属のネジでブラケットに固定します。

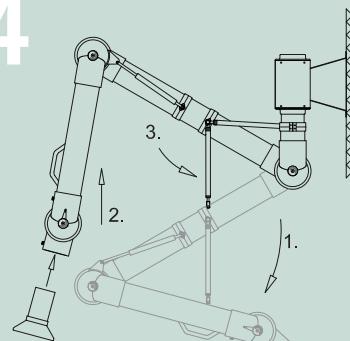
2. 3. 内部のスプリングを考慮し、ソケットパイプを矢印(2)の方向に回し、つまみねじ(!)を前方に向けることが重要です。

3. ソケットパイプをウォールブラケット(3)にセットし、付属のネジでスクエアガイドを固定します。

4. アームは壁面ブラケット内で190°回転させることができます。

●アームを伸ばす

4



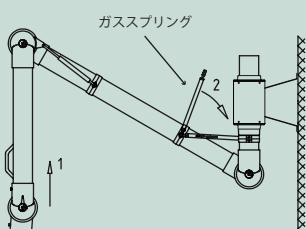
1. アーム部を矢印(1)の方向に広げます。

2. アーム部を垂直の位置に向けて押します(2)。

3. ガススプリングをソケットパイプの取付部の方向に回し、フィンガースクリューで固定します(3)。

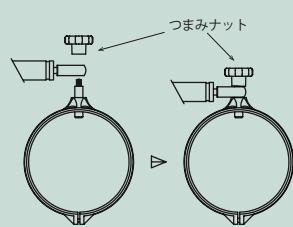
●ガススプリングの組付け (1)

5



●ガススプリングの組付け (2)

6

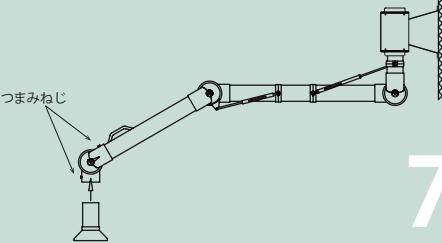
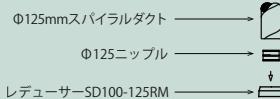


1: 2のガススプリングの固定部と位置が合うようにアームを垂直方向に押し上げてください。

2: ガススプリングを6に図示するように組み付けてください。

接続パイプ上の留め具についているつまみナットを外します。ガススプリングの頭部の穴を留め具のピンに差し込んで、つまみナットを元のように締め付けます。

●排気ダクトに接続



7

1. スパイラルダクト($\phi 100\text{ mm}$)を壁面ブラケット上部に接続します。

2. フードやノズルの接続パイプを関節部に差し込みます。この時、ねじ穴に関節パイプのスリットの位置を合わせて差込み、つまみねじで固定してください。

3. 最後にダンパーが開いていることを確認してください。これで局部排気システムをご使用できるようになりました。

注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。ブラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。

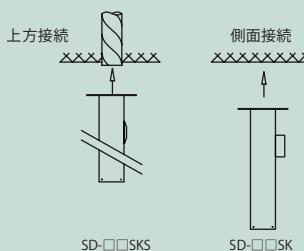


天井取付け

●天井ブラケット

SD-50/75の天井ブラケットは、長さ250~2500mmまで9種類有ります。それぞれに、上方接続のSKSタイプと側面接続のSKタイプがあります。

1



※注意！ 天井が、吊り天井など強度が低い場合、スラブに直接取り付けるか、充分な補強を行ってください。

●排気ダクトに接続（上面接続の場合）

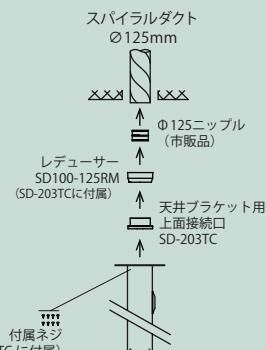
上面接続の場合、図のように上方から天井ブラケットに差し込んで取り付ける方法（左図）と、天井ブラケット上面接続口 SD-203TC を用いる方法（右図）があります。

2

注意！
天井とダクトの
隙間を埋めてく
ださい。

左図

Φ125mmのスパイラルダクトを直接差し込んで接続する事が出来ます。この場合、天井とダクトの間の隙間を充填剤などでふさいでください。



右図

天井ブラケットに天井ブラケット用上面接続口 SD-203TC を使用することも出来ます。TC-203TCに付属のレデューサー SD100-1250RM を差込み（固いので押し込んでください）。それを天井ブラケットの上部に付属のネジで固定します。この時天井ブラケットに穴加工が必要です。そして、レデューサーにΦ125mmのニップルを差し込み、ニップルにΦ125mmのスパイラルダクトを差して接続します。

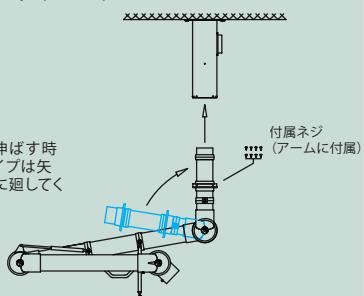
※注意！ 天井ブラケット取付けに際しては、アーム操作によって相当な力がブラケット及び天井に掛かります。そのことを考慮し、しっかりと天井に取付けてください。

●アームの取付け

天井ブラケットの露出長さが短い場合は、先にガススプリングを取り付けてください。（→5へ）

3

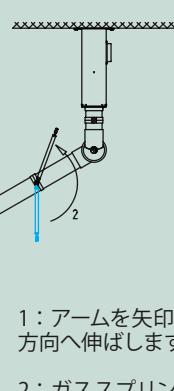
アームを伸ばす時
、接続パイプは矢印の
方向に廻してください。



接続パイプを天井ブラケットに挿入します。接続パイプが天井ブラケットの内部のガイドに差し込み、フランジ部のネジ穴と天井ブラケットのネジ穴を合わせて、付属のネジで固定してください。

●アームを伸ばす

4

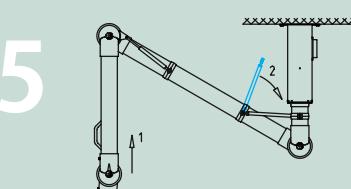


1：アームを矢印の
方向へ伸ばします。

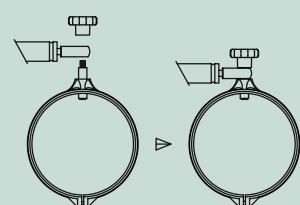
2：ガススプリング
を接続パイプの取付
部の方向へ回します。

●ガススプリングの取付け

5

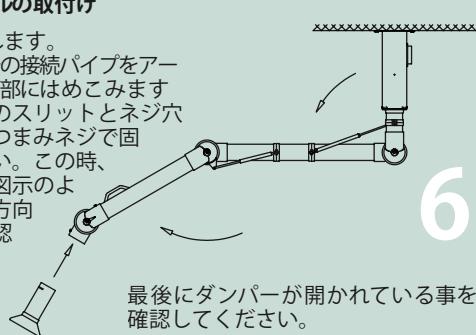


1. アームを垂直方向に押し上げます。
2 ガススプリングを図示のように取り
付けます。



●フードやノズルの取付け

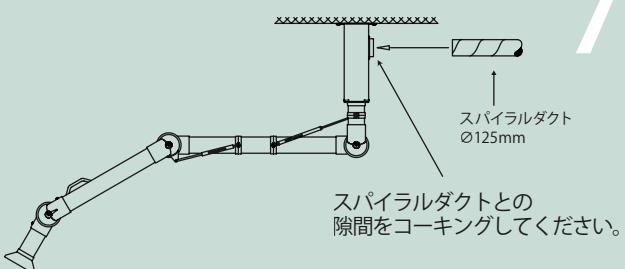
アームを伸ばします。
フードやノズルの接続パイプをアームの先端の関節部にはめこみます。
接続パイプのスリットとネジ穴を合わせて、つまみネジで固定してください。この時、つまみネジが図示のよう^に作業者の方向になる事を確認してください。



最後にダンパーが開かれている事を
確認してください。

●排気ダクトに接続（側面接続の場合）

6

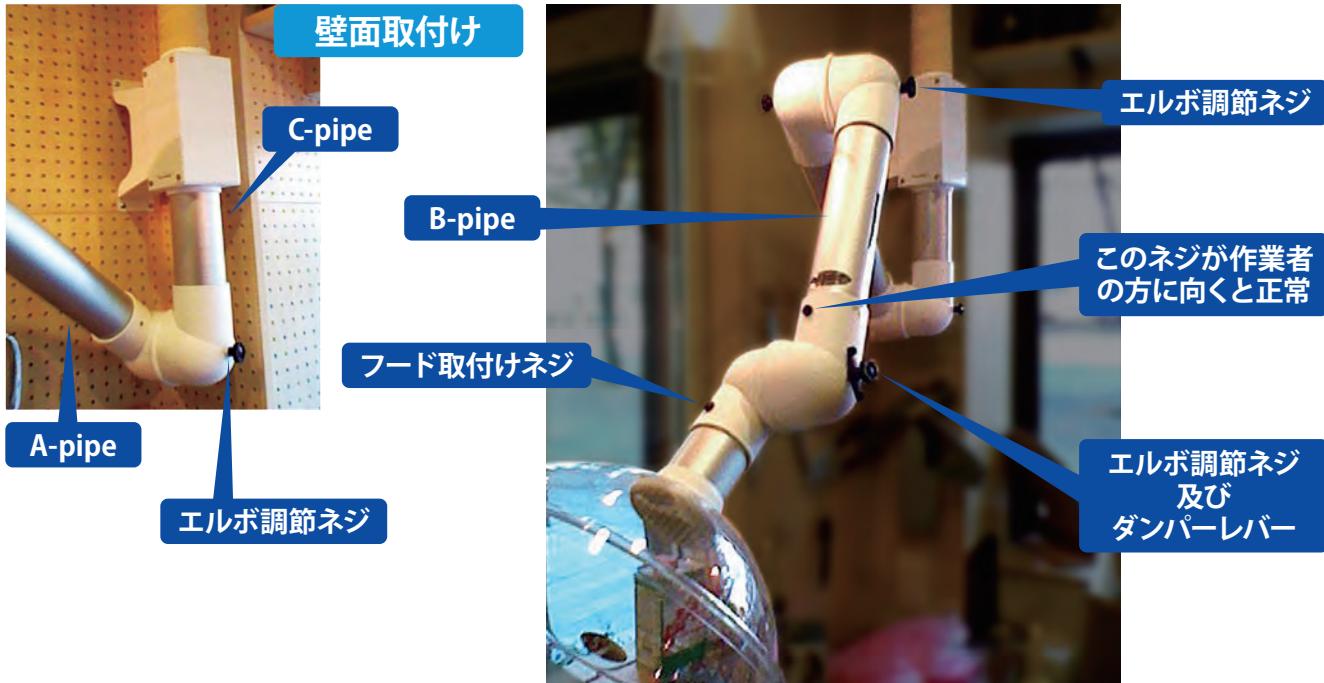


注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。ブラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。



取付けの際のポイント



- 取付に際し、アームを下ろす方向にご注意ください。
※ダンパーレバーが正面から見て右側になる様に設置してください。(またはA-pipeが左、C-pipeが右になるように)
- アーム位置の調節はエルボー調節ネジを締めて(ゆるめて)行ってください。
- 分解組立は、フード取付けネジ、エルボー調節ネジをゆるめて行ってください。
- 透明フードはフード内側より付属のパイプを通してください。
- 風量は必要に応じ、ダンパーレバーで調整してください。
- アーム取り付け後、ガススプリングの取付がしにくいときは、アームをブラケットからいったん取り外して行ってください。*
- ガススプリングは、大きな力が掛かりますので取り外し時などは、十分注意してください。*(ガススプリング付きの機種のみ)
- 出張修理は行っておりません。修理、補修につきましては弊社技術センターにお送りいただき、お見積りさせていただきます。弊社、または販売店にお尋ねください。
- 関節部のOリングやガススプリングは消耗品です。定期的に点検し、必要な場合は交換をしてください。
- フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。

